



京都市会議員団ニュース

発行人／橋村芳和 編集委員／田中たかのり、谷口みゆき、山本しゅうじ 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222)3718 FAX.075(257)3091

<http://jimin-kyoto.jp/>

No.88

令和8年度

京都市予算及び 市政方針に要望



最大会派のわたしたちだからこそ、
成し遂げることができる政策がある

総務消防委員会

- 明治維新後の人口減少を克服した先人の知恵に学び、人口減少対策を強化するとともに、外国籍住民の増加に対応した安心して暮らせるまちづくりを進めること。
- 行財政改革の継続と財政の健全化を図りつつ、宿泊税の使途を明確に発信するとともに、必要な事業への的確な投資と都市の成長戦略を推進すること。
- 災害対応力強化のため、消防車両・資機材の充実や救急体制の整備など、京都の特性を踏まえた総合的な消防体制を強化すること。

環境福祉委員会

- ごみ減量と資源循環を推進し、食品ロスや紙ごみの削減、観光ごみや事業系ごみへの対策など現状の課題に重点的に取り組むこと。
- 赤字が続く京都市立病院について、自治体病院としての役割を踏まえ、市民の命と健康を守る持続可能な運営体制を確立すること。



文教はぐくみ委員会

- 京都市地域コミュニティ活性化推進条例の市民理解を引き続き進めるために、転入時に地域情報を丁寧に説明し、自治会や地域団体への相談体制を強化して、市民のつながりと地域の活性化を進めること。
- 保育園・こども園・幼稚園の京都市の特色をいかしつつ、障害児・病児・医療的ケア児への対応など多様なニーズに応える制度を充実させるとともに、物価高騰を踏まえ、施設整備・老朽化対策の支援制度を検討すること。また、「マイ保育園・こども園」「マイ幼稚園」「子ども誰でも通園制度」などの取組を推進すること。

高市早苗新内閣が発足しました。初閣議

では、自らの内閣を「決断と前進の内閣」と名付け、「変化を恐れず果敢に働く。あらゆる政策を一步でも二歩でも前進させていく」と強い気持ちを表明されました。

われわれ自由民主党京都市会議員団は、高市早苗新総理と軌を一に、**京都市会における第一党の義務と責任**を果たすべく、本市における財政基盤の強化、人口減少・少子長寿化社会、物価高対策、観光課題など、山積する諸課題に立ち向かい、京都を将来にわたって発展させるために、令和8年度京都市予算及び市政方針に対する要望を、**松井孝治市長に提出しました。**

※昨年に引き続き、執行機関における働き方改革の取組などを踏まえ、要望項目を厳選しました。なお、令和元年に提出した「平成から令和へ明日の京都を切り拓く」で示した多くの要望項目など、これまで提案した項目について対応できていないものについては、その完遂に向けて引き続き取組を推進する事を求めています。



産業交通水道委員会

- 国や京都府と連携し、宿泊税を活用してマナー啓発や混雑対策など、市民生活と調和した持続可能な観光を推進すること。
- 「市バス等の市民優先価格」制度の令和9年度実現に向けて、国や民間事業者と協議を進め、分かりやすく利用しやすい制度設計を行うこと。
- 水道施設の老朽化や気候変動による災害リスクに対応するため、施設の更新・耐震化や浸水対策を進めるとともに、持続的な運営のための財源や事業方針を検討し、次期ビジョンを策定すること



まちづくり委員会

- 地域事情に対応した新しい交通システム（自動運転バス、LRT、オンデマンド交通等）の導入を検討すること。
- 遅れている渋滞解消と道路ネットワークの構築を早急に進める必要があり、堀川通や国道1号・9号など重要幹線の整備を、国・府・周辺自治体等と連携して推進すること。

CONTENTS	1面	令和8年度 京都市予算及び市政方針に要望
	2～3面	代表質問9月市会(10月1日)
	4面	京都市決算を認定 京都市会決算特別委員会 第1～第3分科会 主な質問

市バス・地下鉄事業決算と 市民優先価格の実現

橋村芳和議員の代表質問

- ① 一般会計決算の評価と今後の財政運営について
- ② 「新しい公共」の推進に向けた外郭団体の在り方について
- ③ 市バス・地下鉄事業について
- ④ 地方独立行政法人京都市立病院機構の今後の在り方について
- ⑤ 西京極総合運動公園の再整備について
- ⑥ スタートアップの社会実装に向けた支援について
- ⑦ 旧伏見区役所跡地の活用について(要望)

動画はこちら



伏見区
橋村芳和 議員

市民優先価格の実現

Q 橋村芳和議員(質問)

お客様数の回復や平均乗車単価の改善もあり、両事業とも2年連続の黒字となった令和6年度決算を市長はどう評価するのか。また、外国人観光客の利用増加などに伴い、観光課題が再燃する中、市バス等の市民優先価格の取組は重要と考えますが、令和9年度の実現に向けての現状を伺います。

A 松井孝治市長(答弁)

市バスの混雑対策と担い手不



観光客の増加で混雑する市内のバス停

西京極運動公園の再整備

Q 橋村芳和議員(質問)

スポーツに親しみ、スポーツのさまざまな効果を楽しむことができる環境づくりが本市の果たすべき責務です。西京極総合運動公園の再整備、特に老朽化した施設の改修は、市民のウェルビーイング向上と都市ブランド強化に資する投資との観点から、市長の決意と展望を伺います。

A 松井孝治市長(答弁)

西京極総合運動公園の歴史と誇りを未来につなぎつつ、まちの活力や幸福を生み出すオープンでウェルビーイングな公園を

旧伏見区役所跡地の活用について

Q 橋村芳和議員(要望)

伏見区総合庁舎には50台分の駐車場がありますが、特に3月と4月に駐車スペースが不足するため、旧伏見区庁舎跡地を臨時駐車場として利用しています。

この跡地は区役所や伏見中央図書館と隣接していることや、JR、近鉄、京阪の各駅だけでなく大手筋商店街にもほど近い好立地であるため、地域活性化のための本格的な活用検討を進めるべきです。駐車場の必要台数を把握し、市民の意見を反映させながら、地域発展のために早急に跡地の活用を進めることを強く要望いたします。

学校に来られない子どもたち 未然防止と包摂の取組を

山本恵一議員の代表質問

- ① 今後の環境行政について
- ② 障害者福祉施設におけるICT機器等の導入について
- ③ 持続可能な上下水道事業の運営について
- ④ 不登校対策の更なる推進について
- ⑤ 有害鳥獣対策について
- ⑥ 京都マラソンについて(要望)

動画はこちら



北区
山本恵一 議員

子の未来に選択肢を 多様な学びの環境づくりへ

Q 山本恵一議員(質問)

全ての子どもの主体性を大切に、将来の選択肢を広げ、豊かな人間性や社会で自立するための力を育むことは、公教育の使命である。今後の不登校施策推進に関して、お考えはいかがでしょうか。

A 松井孝治市長(答弁)

本市の取組を検証し、全ての子どもにとって魅力ある学校づくりや社会と繋がる機会の充実に向けた環境づくりを推進することは重要であり、今後、アンケート等を通じて、不登校の当事者の声を聴き、専門家の知見もいかしながら、不登校の未然防止はもとより、多様な子どもを包摂する魅力ある学校の在り方の検討を進め、自分らしく生き生きと学べる教育環境の充実に努めて参ります。

障害者福祉に ICT機器導入を

Q 山本恵一議員(質問)

担い手不足となっている障害者福祉現場の職員負担を軽減して長く働き続けていただける職場環境を確保するとともに、利用者へのケアの量と質を向上させるため、現場のニーズを把握したうえで、障害者福祉施設におけるICT機器等の導入支援に取り組んで頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

A 松井孝治市長(答弁)

障害者福祉施設へのICT機器等の導入は、業務の効率化や現場の職員の負担軽減等に資する必要な取組と認識しています。ICT機器等の導入に関する意向調査において、幅広い機器等の導入支援を希望する回答をいただいたことも踏まえ、補助制度の創設を検討するとともに、導入事例を分かりやすく発信することで、ICT機器の導入が進むよう取り組んで参ります。

老朽化する 上下水道への対策は

Q 山本恵一議員(質問)

老朽化する施設・管路の更新や地震対策は重要な課題である。今後の持続可能な上下水道事業

の運営について、お考えを伺います。

A 松井孝治市長(答弁)

令和10年度以降の次期ビジョンは、国の動向も踏まえ、2050年までの長期のビジョンを策定することとし、今後上下水道事業審議会において、老朽化した管路・施設の更新など、事業の方向性はもとより、官民連携や広域連携、DXによる業務変革も含めた運営手法、料金制度も含めた財源の在り方について議論いただき、あらゆる観点から検討して参ります。



市内の水道管工事の様子

日本を取り戻す 原点は京都にある！

平山たかお議員の
代表質問

- ① 京都基本構想について
- ② 観光課題対策について
- ③ 民泊に対する規制について
- ④ 多文化共生(他文化強制)について
- ⑤ 賃上げの促進及び京都経済の内需拡大について
- ⑥ 物価高騰に対する個人への支援について
- ⑦ 東山区における人口減少対策について
- ⑧ ゴミの夜間収集及びゴミ出しに使えるレジ袋の導入について(要望)



東山区
平山たかお 議員

京都基本構想について

Q 平山たかお議員 (質問)

日本が日本で無くなっているのではないかと懸念があります。日本を取り戻すための原点が京都にはあり「京都基本構想」こそがその基となるものではないでしょうか。

A 松井孝治市長 (答弁)

一時的な大量消費に迎合するあまり、あざといまちになってしまわないかとの懸念もあり、審議会の総意として町の名前を伏せても、京都だとわかってもらえる構想とすることを第一に考えていただいたと理解しています。京都の価値を次の世代に継承できるよう全力で取り組んでまいります。

外国人の不動産購入や民泊に規制強化を!!

Q 平山たかお議員 (質問)

特区民泊が大阪においては、中国人の移住のツールとなっているとの報道も見ます。京都市に特区民泊はないが、民泊が本来の目的や趣旨からは逸脱した事業形態となっていないでしょうか。住民との間にトラブルを抱えている事案

マナー違反の観光客 規制対策強化を

Q 平山たかお議員 (質問)

観光客の一部エリアへの集中によって住民生活に不便が生じてい

A 松井孝治市長 (答弁)

外国資本の一部の不動産投機に關して、平山議員の危機感を共有しており、今後、国において適切に議論される事を強く期待しております。民泊については本市では全国一厳しい条例も課しています。規制強化を国に働き掛けると共に、指導を徹底していきます。また、住宅宿泊事業法の届出施設は、本市独自のルールづくりが可能ですことから、規制強化に向けて検討していきます。

A 岡田憲和副市長 (答弁)

「ツーリストシップ」という言葉も活用し、分りやすいマナー啓発に加え、絶対に遵守してもらわないといけない、すなわち、「マナー違反や迷惑行為をする観光客は京都には来ていけない!」との強い意思表示が感じられる気概を持ち、取り組みべきではないでしょうか。オーバートーリズム対策に特化した専門部署の設置、オーバートーリズム対策基本条例など、京都市が全国に先駆けて観光課題対策はこのような講じていると示そうではありませんか。

「ツーリストシップ」という言葉も活用し、分りやすいマナー啓発を強化していきます。今後の京都観光の在り方に関し、現在、次期観光振興計画の策定に向けた議論も行なっており、市民生活との調和・両立に向けて実効性の高い取組を検討し実行していきます。



多くの観光客で溢れる京都

山科・醍醐地域の安心安全、 住みよいまちづくりに向けて!

山本しゅうじ議員の
代表質問

- ① 空き家対策の強化について
- ② 山科・醍醐地域全体の均衡ある発展と振興策について
- ③ 道路の冠水対策について
- ④ 豊かな「みどり」がある、まちづくりについて
- ⑤ 地域コミュニティの活性化・再構築について
- ⑥ 5歳児健診の実施に伴うフォロアップ体制について



山科区
山本しゅうじ 議員

空き家対策の 強化について

Q 山本しゅうじ議員 (質問)

いつ自分が当事者になるかもしれない空き家問題。事前の予防策や早期の対応で、将来負担は減り、活用できれば収入にもなる。加えて、地域の防災・防犯面も改善し、住みよいまちづくりに繋がる。本市の空き家対策情報が多くの市民の目に触れるような、広報・啓発活動を推進する事が重要であり、本市の定住・移住対策にも、大いに寄与することになる。これまでの取組の成果と、今後の空き家対策の強化について伺います。

A 松井孝治市長 (答弁)

相手の心に響き、心を動かす広報が重要。職員が様々な機会に地域に出向いて、直接対面による発信を強化します。「Kyoto Dig Home Project」においても、制度を実際にご利用いただいた方の生のお声を動画でお届けする等、より心を動かす情報発信を行います。

山科・醍醐地域全体の 均衡ある発展と振興策

Q 山本しゅうじ議員 (質問)

山科・醍醐地域全体の均衡ある発展に向けて、ハード・ソフト両面の取組の成果を着実に積み上げていくことが重要。今後の施策の充実や課題認識、山科・醍醐地域の将来像について、どのようにお考えか?

A 松井孝治市長 (答弁)

元ラクト健康・文化館の有効活用、東野公園の遊具の充実などを着実に進めるとともに、これらのまちの象徴となる取組を契機に、道路・交通・観光など様々な分野の取組を順次、山科・醍醐地域全体に波及していく必要があります。市民、事業者の皆様とともに、地域への愛着を深め、まちのブランディングにつなげる、あらゆる世代がワクワクするまちの実現に向け、ハード・ソフト



Meetus ロゴ

5歳児健診実施に伴う フォロアップ体制

Q 山本しゅうじ議員 (質問)

5歳児健診のフォロアップ体制として、健診から療育へ、シームレスに繋げる仕組みを構築することが重要だと思いますがいかがでしょうか?

A 松井孝治市長 (答弁)

5歳児健診の実施を見据え、切れ目なく療育につなげていく仕組みとして、健診を実施する各区役所・支所の子どもはぐくみ室において、ご相談だけでなく、そのまま療育に必要な手続きを受け付けることを検討していきます。児童福祉センターの専門的な相談や診断の機能も継続し、保護者の方の様々な不安に対応していきます。5歳児健診の実施、そのフォロアップ体制をしっかりと確保することで、子どもたちの発達を支えるとともに、保護者の方の安心につなげていきます。

令和6年度

京都市決算を認定

※持続可能な行財政運営に向け、着実に前進

※過去負債を計画通り35億円返済した上で、58億円の黒字。



京都市ならではの施策(一部)

- 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出
- 観光特急バスの新設による市民生活と観光の調和と両立
- 重層的支援体制の構築
- 地域企業・中小企業及びスタートアップ等の成長促進や企業立地の促進
- 起業家精神や探究心を育む教育環境の充実
- 若者・子育て世代の住まいの確保支援「京都安心すまい応援金」の創設
- 災害備蓄物資の拡充など災害に強いまちづくりの推進
- 市バス・地下鉄の利便性の向上
- 市バス運転士等の処遇改善や職場環境の改善
- 地下鉄等をいかした移動経路の分散化による市バスの混雑対策
- 老朽化した水道配水管の更新をはじめとする震災対策や雨水幹線の整備

わが会派からの指摘・要求

- 財政状況が着実に改善していることなどを市民や事業者の方々に分かりやすく丁寧に説明すること
- 物価高騰が長引く折、市民・事業者の心を寄せた財政運営を行うこと
- 今後の市政運営にあたっては、ぶれることのない確固とした理念、哲学をもつこと
- 宿泊税やふるさと納税などの財源確保に取り組むこと
- 市バス・地下鉄両事業とも、引き続き、経営改善に向けて、「利用促進」、「収入増加」、「経費削減」に取り組むこと
- 「攻めの視点」を取り入れた次期経営計画(市バス・地下鉄)を策定し、前向きな取組を進めること
- 上下水道施設の老朽化対策等について計画的かつ着実に実施すること
- 大変厳しい状況が想定される上下水道事業の運営について、将来世代に負担の先送りをしていない財源のあり方を検討すること

京都市会決算特別委員会

自民党市会議員団の質問が市政を動かす!

第1分科会

- 物価高騰が続く状況下での市民生活を支える財政運営の実施
- 行き過ぎた状況の変化を軌道修正するのが行政の役割であることを認識し市民の理解を得られるよう対応する必要性
- 京都創生の推進、双京構想の推進
- 消防署の自主防災会に対する関わり及び地域との関係性
- 生物多様性プランの中間見直しを踏まえた生物多様性の保全を推進していくに当たっての決意
- 子育て支援も含めた福祉の観点から市立病院と「COCO・てらす」をヘルスケアの拠点として活用する必要性 (二部抜粋)

第2分科会

- 西京極総合運動公園の再整備における周辺地域との一体的なまちづくりを推進する必要性
- 子育て世代への市民税減税等の大胆な支援策に対する考え
- スーパースクール構想等も視野に入れ中学校区の在り方を検討する考え
- 小金塚地域循環バスに係る支援状況と持続可能な運行に向けた今後の支援方針
- 京町家保全に向けた相続税・固定資産税の軽減措置の実現に向けた今後の取組方針 (二部抜粋)
- 自動運転を含む新たな交通システムの取組方針 (二部抜粋)

第3分科会

- 令和7年度における商店街振興の方向性及び重点施策に対する考え方
- 市内における環境保全型農業の今後の展開
- 山科・醍醐地域の住民の足を確保するため京阪バスに対し継続的に改善の申入れを行う必要性
- 駅エスカレーターの利用マナー向上に向けた取組状況
- 運転技能接遇コンテストを通じた運転士スキルアップや担い手確保に向けた決意 (二部抜粋)

南区

副委員長 椋田隆知

北区

山本恵一

中京区

津田大三

西京区

西村義直

南区

しまもと京司

北区

谷口みゆき

東山区

副委員長 平山たかお

西京区

田中明秀

上京区

寺田一博

左京区

さくらい泰広

右京区

田中たかのり

山科区

山本しゅうじ

中京区

加藤昌洋

右京区

委員長 森田守

山科区

富きくお

伏見区

橋村芳和

下京区

下村あきら

伏見区

みちはた弘之

右京区

井上よしひろ